

弘法川排水機場完成15周年 ～アニバーサリープロジェクト～

H29.8.26

—福知山河川国道事務所—

国土交通省は、完成から一定期間経過した治水施設について、地域の方々と生い立ちを振り返り、施設が果たしてきた役割、地域の水害リスクについて再度認識して頂くため、施設見学会を実施する「アニバーサリープロジェクト」を推進しています。

今回、**弘法川排水機場が完成15周年**となり、この機会に弘法川排水機場の果たしてきた役割や地域の水害リスク等について再認識していただくと同時に、現在進めている「**福知山市街地における総合的な治水対策**」*を広く知っていただくため、京都府と福知山市と連携して、地域の方々を対象とした見学会を開催しました。

※平成26年8月豪雨による福知山市域における浸水被害を踏まえて、福知山市、京都府及び国が連携し、平成27年度より実施している対策。

- 主催：福知山河川国道事務所
- 日時：平成29年8月26日（土）13:00～15:00
- 場所：弘法川排水機場（福知山市荒河）
- 参加人数：地元住民 約20人
- 内容：事業説明&工事説明(福知山河川国道事務所、京都府、福知山市)
排水機場施設説明・見学 ポンプ車による排水作業実演
照明車操作体験 災害対策車乗車体験
弘法川樋門ゲート開閉見学

【事業経緯と効果】

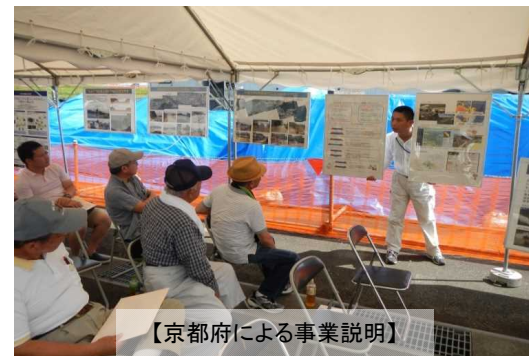
度重なる洪水被害の軽減を図ることを目的に、H14に完成した弘法川排水機場は毎秒5m³の排水能力を有しています。H25台風18号の際には約43万m³(25mプール1,200杯分)、H26年8月豪雨の際には約32万m³(25mプール800杯分)の内水排除を行いました。現在実施しているポンプ増強工事が完了すれば、毎秒14m³の排水が可能となります。



【弘法川排水機場】



【福知山河川国道事務所による事業説明&工事説明】



【京都府による事業説明】



【福知山市による事業説明】



【樋門・ポンプ設備について説明】



【排水ポンプ車実演】

参加者の声

- ・弘法川排水機場の役割について良く分かった
- ・施設内部やポンプ車などがみれて良かった
- ・照明車等の操作体験が出来、とても良かった
- ・素晴らしい施設で、頼もしく思った
- ・対策を今後も進めて欲しい



【照明車操作体験】

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 福知山河川国道事務所 調査課
〒620-0875 福知山市堀2459-14
TEL 0773-22-5104 (代表)

